

# ここがポイント ビデオ教材！

教材活用例

帝国書院 編集部

## 1 ビデオ活用の工夫

様々な視聴覚メディアの中でビデオは、映像と音声を組み合わせて提示する点に特色があり、特定の地域に対して具体的で臨場感のあるイメージを描くことができる。

授業において効果的にビデオを活用するためには、ビデオの視聴前、視聴中、視聴後のそれぞれの場面において、活用の工夫が必要だと考えられる。ここでは、『世界と比べてみた日本 -産業2 農業-』のビデオを例として、活用の工夫例を示したい。

## 2 ビデオを見る前には

ビデオ視聴前では、給食の食材の産地を探す活動を通して、ビデオ視聴への関心を高めることができる。給食の献立に「ごはん、けんちんじる」があったとしたら、地図帳の「都道府県の区分地図」を見ながら、それぞれの食材が主にどこでとれるのか予想してみる。お米はどこでとれるか、けんちん汁に入っているダイコンや豚肉はどこが産地なのか想像する。手がかりがなく予想ができない場合は、地図帳P.59②の主題図「日本各地の農業」を参考に、この地図を見ながら「きつ



帝国書院「小学生の地図帳（初訂版）」 P.59

とここでとれるだろう」と考えることができる。このような活動を通して、ビデオ視聴に対する児童の期待感を高められる。

次に、視聴中については、20分間のビデオ全体を通して見る場合と、特定の部分のみを見る場合が考えられる。ビデオは「世界の農業」と「日本の農業」の2部から構成されているので、個別に取り扱うことも可能である。必要な箇所のみを取り上げれば、より視聴の視点が明確になる。



ビデオ「甲府盆地のブドウ」

## 3 ビデオを見た後には

視聴後においては、ビデオに登場した都道府県や地域などを地図帳を活用して確かめる活動が挙げられる。山梨県の甲府盆地のブドウ栽培についてビデオで見たならば、地図帳P.36の「関東地方の地図」を使い、甲府盆地を探し、そこがどのような地域か読み取る。また、山形盆地のサクランボ栽培が取り上げられていたら、地図帳P.40～42の「東北地方の地図」を活用し、サクランボが栽培されていることを確かめる。さらに、地図から山形盆地では、サクランボ以外に西洋なし、りんご、スイカも栽培されていることに気づくことができる。



ビデオ「山形県のサクランボ」

このように、ビデオの視聴前後に地図を活用することを通して、児童がビデオへの関心を高め、ビデオから得た知識を確認することが重要である。